



きずな

第27号
2013年
新年号



～成東駅前 あいさつ運動～

「同じ地域の人が顔をあわせてふれあい、人と人がつながると、もっと地域が良くなるのではないかと考え、小学校・中学校・高等学校の子どもたちや地域住民のみなさんとともに『あいさつ運動』をおこなっています。今回の運動には延べ380名が参加。次回は、2月18・19・20日の3日間実施する予定です。お近くの方はぜひご参加ください。

主なもくじ

新春特別企画	②	さんむくんが行く! 施設めぐり	⑧
第7回山武健康福祉まつり	③	奮闘記～あなたを応援したいから～	⑨
第7回山武市社会福祉大会	④～⑤	街のほっとトピックス	⑩
福祉だより 山武地域・蓮沼地域	⑥	ころきらきらゴールドクラブ便り	⑪
成東地域・松尾地域	⑦	インフォメーション	⑫





あけましておめでとーございませう 社協会長にインタビュー・新年の抱負をお伺いしました



にこやかに抱負を語る金杉会長

—あけましておめでとーございませう。早速ですが、新年の抱負をお聞かせください。

私は、長年旧成東町の議員として関わる中で福祉社会に関する状況が年々変化しているのを感じました。それは、高齢化社会のなりゆきなのか。福祉は、マンネリ化してはいけません。新しい形で地域の子どもや高齢者、障がいのある方のニーズに合わせた仕事をしていかなくてはならないのではないかと思います。日常におけるさまざまな福祉との関わりの中で、徐々に心境が変化し、何かをしなればいけないと感じ、社会福祉協議会の理事となり会長の命を受けた今は、会長と言う職に使命感を持って責任を果たしたいと思っています。

—今年はどうのような年にしたいですか。

政局は別として、地域の方々も未来に向かって楽しく過ごせるような環境づくりを、我々、社会福祉協議会がめざすべきであろうと考えております。市内一円にいる社会福祉協議会理事、評議員、地区社協福祉推進員、ボランティア、民生児童委員さん等々、いろいろな方々の協力があつて運営できるわけですが、願わくば市民一丸となつて、事業やイベント等を通じて理解し合い、明るい未来のために今年、『福祉に強く関心を持つ年』にしていきたいと思っております。

—福祉の姿とは、また力を入れたことはありますか。

やはり人間関係ではないでしょうか。お互いに助け合うという互助精神。これを持てば自ずから福祉という道が開け、福祉の心が持つて、その姿が見えてくるのではないのでしょうか。

特別なことではなく、人にとつて一番大事なことは笑顔のある社会。高齢者も障がいのある方も心を通わせた日を送ることができるとの社会構成が必要ではないかと感じております。日本中どこに行ってもあいさつができるという地域社会。心を結ぶ絆は、通り

一辺ではなく日常会話ができること、昔で言う「井戸端会議」のようにその日の話題を持ち寄つて笑顔で話すことができる地域をめざしたいと考えております。その為、社会福祉協議会には前を見て進み、ゆとりある人間関係を作れるよう、より一層努力して参りたいと思っております。

—地区社協への希望、要望をお聞かせください。

市社協が全域で一つの事業を行うのは地域格差もあり、とても難しいです。地区社協では、地域にあった福祉、地域にあった活動、人間関係を踏まえた事業が必要となります。海岸、山林、商業地域等があります。それぞれ地域では感覚が違います。市社協としても協力いたしますので、その地域に合った活動をぜひ今後とも進めていただければと思っております。

—福祉行政への要望などをお聞かせください。

我々社会福祉協議会の事業をご理解していただき、事業費の支援もお願いしたいですが、単に補助をいただく行政と社協という関係ではなく、お互いに『山武市の福祉を守る』という気持ちでご支援いただきたいと思っております。社会福祉協議会としても、基金づく

りや福祉イベント等さまざまな事業をおして独自でも努力しておりますが、中身趣旨を理解してご協力いただき、必要なものは必要と今後とも支援を賜りたいと思っております。資金を使わなければできない事業と使わなくても出来る事業、それぞれ市に理解を求め要望をさせていただきたいと思っております。

—最後にひとことお願いします。

会長職は、会長という名だけの広告塔ではなく、福祉に関わることは、『みんなやるんだ』という気持ちを持って率先して地域に向き、参加、協力し、未来の見える明るい地域福祉社会の実現に力を入れて参りたいと思っております。ありがとうございます。



金杉会長(写真右)にインタビューする大阪広報委員長(写真左)

—本日はお忙しいところ、ありがとうございました。

地域から始めよう健康と福祉のまちづくり

～第7回山武市健康福祉まつり～

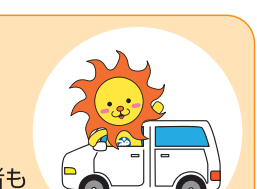
10月21日(日)さんぶの森交流センター「あららぎ館」において、「第7回山武市健康福祉まつり」が開催されました。

開催に向け、一般市民によるスタッフ参加、福祉関係団体の方々の参加により何度も話し合いを重ねアイデアを出し、準備をすすめ一丸となって臨んだ手作りのイベントです。

当日は、とても良い天候に恵まれ、来場者は約3000人を超える大盛況でした。

昨年はオリンピックの年でしたので、ステージは五輪のイメージで装飾され、元気になる演奏や心落ち着く大正琴、仲間を偲んでの演奏、個性豊かな歌声、日本舞踊からフラダンスなど会場の方々も一緒に歌い踊り、会場は終始大勢の方の声援がありとても賑やかでした。

また、企画ブースではボランティアグループ、地域の団体、当事者団体などによる活動紹介や季節の野菜や食品、手作り手芸品などの模擬店で来場者を楽しませてくれました。昼休みには子どもから高齢者、ハンディのある方など誰もが参加できる輪投げ大会もあり、来場者の心と胃袋も満たされた一日となったようです。

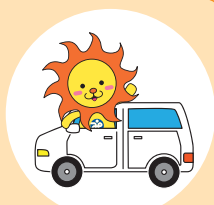


福祉車両及び貸出物品購入積立金

今回積立金 84,000円 (総積立額 247,500円)

内訳：企画ブース出展料及びステージ参加料

※その他、まつり当日の売上金の一部を寄附金としてくださった参加者もいらっしやいます。ご協力ありがとうございました。



～善意をありがとう～

～平成24年9月16日から平成24年12月12日までの受付分～

(順不同・敬称略)



◆お金のご寄附(含む1円玉募金)◆

會田 トシエ	16,100円
焼肉あらい	51,957円
FPプロジェクトチーム(有)	777円
「空の日」・「空の旬間」成田地区実行委員会	85,000円
ダスキンときがね支店	2,000円
かぞく亭	5,000円
手づくりグループKAI 代表 上遠野真木子	5,000円
大藤 節子	5,000円
わかしおローズ会	50,000円
ストロベリーキッズ	2,500円
リメイク毛糸玉の会	14,000円
オライはすめ企業組合	67,325円
東和会	3,040円
大平会	17,166円
山武市産業まつり実行委員会	12,400円
山武市シルバー人材センター	2,000円

山武市役所保健福祉部	23,300円
鳴浜地区社会福祉協議会	5,000円
チャリティゴルフ実行委員会	165,597円
チャリティグラウンドゴルフ実行委員会	52,204円
匿名	2,000円
匿名	2,000円

◆物品のご寄附◆

伊藤 國雄	大型鍋中古セット
大富小学校PTA	日用品多数
匿名	雑貨品多数

◆自動販売機募金◆

日本ペプシコーラ販売(株)	1,298円
---------------	--------

*さんぶの森公園に設置されているペプシコーラ自動販売機の販売本数1本につき2円寄附されます

第7回山武市社会福祉大会

一人ひとりが地域の力

11月21日に成東文化会館のぎくプラザを会場に、第7回山武市社会福祉大会が開催されました。

社会福祉関係者が一堂に集い、これまで社会福祉の増進に寄与された方々の表彰をはじめ、「みんなで助け合い、地域で安心して暮らせるまちづくり」をテーマに小中学生から募集した標語・ポスター・作文の発表を行いました。

式典後、笑医塾塾長で医学博士でもある、高柳和江氏を講師に招いての講演では、「1日5回笑って1日5回感動し幸せになりましょう」と巧みな話術で語る言葉で、笑うことの大切さを会場参加者の方々と味わうことができました。



健康のコツは“笑うこと”



場内は笑顔であふれていました

表彰・受賞された方々及び作品等をご紹介します。
(順不同・敬称略)

山武市社会福祉協議会会長表彰者

《民生委員児童委員功労者》

川面 貞雄 (成東)
飯岡 さい (松尾)

《地区福祉推進員功労者》

- 平山 公夫 (大富地区)
- 布施 洋之 (南郷地区)
- 齊藤 三枝子 (南郷地区)
- 齊藤 剛 (睦岡地区)
- 佐瀬 しのぶ (睦岡地区)
- 高柳 富美子 (睦岡地区)
- 追口 徳子 (日向東地区)
- 松浦 三枝子 (日向東地区)
- 古川 訓代 (日向東地区)
- 澤田 啓一 (日向東地区)
- 阿部 幸子 (日向東地区)
- 黒相 美恵子 (日向東地区)
- 梅津 郁子 (日向西地区)
- 伊藤 和 (日向西地区)
- 川島 仲江 (日向西地区)
- 遠藤 直 (日向西地区)
- 秋葉 誠 (蓮沼岡地区)
- 木島 静子 (蓮沼岡地区)
- 宇津木 マサ子 (蓮沼浜地区)
- 川島 勝恵 (蓮沼浜地区)

《社会福祉協議会役員功労者・職員功労者》

- 香焼 由和 (理事)
- 矢田部 幸枝 (職員)

贈呈者

- 市原 貞夫 (松尾)
- 會田 トシエ (成東)
- 大室 卓 (山武)
- 吉田 幸次郎 (山武)
- わかしおローズ会 (成東)
- ルアナアロハスタジオ

- 代表 高田 直子 (横芝光町)
- 「空の日」・「空の旬間」
- 成田地区実行委員会 (成田市)

日蓮宗千葉県東部宗務所 宗務所長 富永 観瑞 (多古町)
山武市ゴールドクラブ連合会(山武市) 《社会福祉協議会評議員退任者》
高田 早苗 (成東)
野島 弘光 (成東)
田村 悦子 (成東)

《地区福祉推進員》

- 麻生 信子 (成東地区)
- 鶴田 俊子 (成東地区)
- 布施 絹代 (南郷地区)
- 段木 優子 (緑海地区)

《ボランティア団体・個人》

- 手話サークル「ことばの会」 (成東)
- 手話サークル「ひまわり」 (成東)
- ボランティアグループ「もしび」(山武)
- ボランティアグループ「あじさい」(山武)
- 《住民参加型在宅福祉(家事援助)サービス事業協力会員退任者》
- 行木 芳子 (成東)
- 《会員(会費)加入優良区・自治会》
- 南麻生区
- 宮田区
- 中台区
- 宿中区
- 戸田バードタウン自治会



山武市ゴールドクラブ連合会会長

《活動功労者》

- 八角 完二 (寺崎福寿会)
- 大竹 みさを (下町明老会)
- 塚野 秀夫 (五木田第一ゴールドクラブ)
- 川島 恵 (矢部ゴールドクラブ)
- 友國 一郎 (井ノ上ゴールドクラブ)
- 北田 照子 (広根隣友会)

《優良クラブ》

- 富士見台グリーンクラブ (会長 開発 哲夫)
- さんむ白玉ゴールドクラブ (会長 並木 義雄)
- 古和いきいきクラブ (会長 金親 はる)

「地域ぐるみ福祉のまちづくり推進作文・標語・ポスター」受賞者

《標語の部・小学生》

◆最優秀賞

言葉より

そつと差し出す 小さな手



加我 優菜 (日向小 4年)

◆優秀賞

助け合い やさしい町の 第一歩

あふれだす みんなの笑顔で町づくり
南郷小 4年 岩田 えみり
ありがとう 未来につながる 合言葉
緑海小 4年 伊藤 麻衣

「どうぞ」「ありがとう」。
蓮沼小 5年 川嶋 寿希也

みんな持ってる、優しい 勇気
松尾小 6年 古谷 真穂

あいさつで 笑顔いっぱい 増やそうよ
大平小 5年 北田 弥子

《標語の部・中学生》

◆最優秀賞

笑顔が町のスポットライト

照らそう未来 増やそう笑顔



今井 美哉 (成東中 3年)

◆優秀賞

集めよう みんなの笑顔 地域の輪
成東東中 1年 北澤 優美

お隣さん 元気ですか
山武南中 2年 藤井 結子

《作文の部・小学生》
◆最優秀賞
私のおばあちゃん



篠宮 ひなた
(日向小6年)

私のおばあちゃんの家はバリアフリー仕様で建てられています。だからと言っておばあちゃんの体が不自由なわけではありません。おばあちゃんは元気です。バリアフリーになつていいるわけは、私が生まれる前になつたつたひいおばあちゃんが車椅子生活だったからです。お母さんが私を妊娠しているときに、そのひいおばあちゃんはなくなくなつたようです。ですから私はひいおばあちゃんに会つたことはありませぬ。おばあちゃんに飾つてあるひいおばあちゃんしか知りません。その顔は、やさしそつできれいなおばあちゃんです。

「早く足を治してまた給食を配らないかね。」と話していました。
給食のボランティア活動は、待つてお年寄りもおばあちゃんも元気になれるのです。私もおばあちゃんのように人の役に立つ人になりたいと思います。

◆優秀賞《小学生》
コミユニケーションが大事だよ

- 南郷小 4年 長谷川果歩
- 今の福祉とこれからの福祉
蓮沼小 6年 石橋 彩恵
- 町を守るボランティア
松尾小 4年 鎌倉 朱里

《作文の部・中学生》
◆最優秀賞
小さな勇氣



小川 ほのか
(成東東中3年)

私はその一言が言えませんでした。電車に乗つていいるとき、やつと空いてる所を見つけたとき、目線の扉から八十きくらいのおばあさんが入つてきました。その方は、私の座つていいる所の斜め前にある手すりにつかまつて立つていらつしやいました。それを見て私は、席を譲らなければと思つた。しかし、その気持ちよりも、恥ずかしいという気持ちのほうが勝つてしまひ、結局、勇氣が出ず譲ることができませんでした。

と、私が言えなかつた「どうぞ」の一言を、私の隣に座つていた女の人が何のためらいもなく言つていました。それを聞いたとたん、自分がとても情けなく感じられた。そして、席を譲られた方は、「ありがとう、ありがとうございます」と笑顔でうれしそうに言つてました。私は自分が席を譲れなかつたことを恥じる一方、譲られた方のうれしそうなお姿が忘れられませんでした。「どうぞ」。この一言がちゃんと伝えられる人になつたと思つていました。
その次に、友達と二人で電車に乗つた時のことです。三人連れのおばあさんとその娘さんらしい人達が乗つてきました。私は今度こそ、「どうぞ」と言うことができませんでした。「ありがとう」。そう言つていただけでした。私は温かくうれしい気持ちになりました。少しの勇氣だけで、こんなにもやさしい温かい気持ちになれるのほすごいと思つていました。
電車での席を譲るのは、勇氣がいることだと思つてしまひ、そのちよつとの勇氣と、「どうぞ」の一言だけで人はこんなに温かい気持ちになれるのです。だから、小さな勇氣をもって人に親切にできる人になりたいと思つていいます。この電車での出来事は、とても良い体験になり、自分をすこし成長させる勉強になりました。私達の身の回りには、ちよつとした手助けがあれば、と思つていいる高齢者の方や障害者を持つ方がいます。少しの段差が上がれずにいるお年寄りや、赤ちゃんと荷物がかかえてドアが開けられずにいる方などです。私達が少しの勇氣と優しさをもちつてこれらの方に接すれば、助かる方はたくさんいるはずでつ。
最近では人と係ることを苦手とする若者が増えていいるといわれまふ。スーパーでもコンビニでも一言も発することなく買物ができる、携帯電話も直接話すよりメールの方が多く、面と向かつて話す機会が減つてきています。ですが、それではなかなか相手の心が見えず互ひを理解し合うことができません。相手と直接言葉交わし、理解し合ひ、相手を思いやることから社会はよりよくなると思つていいます。また、小さな思いやりを増やしていくことでたくさんの人が温かい気持ちになれると思つていいます。相手を思いやれる小さな勇氣を大切にしていきたいと思つていいます。

《ポスターの部》
◆最優秀賞



古谷 茉留子
(松尾小6年)



◆優秀賞



若名 紀帆
(日向小3年)



奥田 愛梨
(大平小3年)



森田 愛美
(成東小6年)



布施 恵生
(南郷小6年)



浪川 莉央
(蓮沼小5年)



花澤 萌
(豊岡小5年)



野呂 渚月
(大富小4年)

ふれあい日帰り旅行

日向東・西地区社協

山武地域



西地区の皆さん

日向東・西地区共同で年2回計画されていますが高齢者の方々に喜んでいただき本当に良かったと思っております。
 秋の旅行は9月27日、八景島シーパラダイスに行き海の動物達のいろいろなショーを見学し童心に返り皆様がとても楽しそうに過ごしていました。その後横浜の中華街に行き昼食に舌鼓をうち、和気あいあいと語り過ごした後、お買物の時間もゆつくり過ごしました。高齢者の方々の楽しそうな語いや笑顔に接する事ができた最高の一日でした。又、次の旅行

も一緒に参加しようね」とバスを降りて約束している姿を見て、これからの日々、健康に気をつけて暮らし次回も多くの方々の参加を望んでいます。
 推進員もこのふれあい日帰り旅行を通じて参加していただいた方々の交流が益々深まる事を望んでこれからもお手伝いをさせていただきます。
 (日向西地区社協会長 吉井 正道)



東地区の皆さん

蓮沼地域

サロンで思い出作り

浜地区社協

10月4日、殿下いきいきサロンで東京方面に日帰り旅行に行ってくださいました。

出発する時は雨が降っていましたが、千葉を過ぎた頃からお天気も回復して、絶好の旅行日和になりました。

最初の見物先は、おばあちゃんの原宿と呼ばれているとげぬき地蔵です。毎月4の付く日が縁日なので大勢の老若男女で大変賑わっていました。参加された皆さんもきつと色々なことをお願いしたのではないのでしょうか。

次に浅草に向かい、お昼を頂き、浅草寺をお参りして仲店を散策しました。浅草も一時は観光客も少なくなつたようですが、東京スカイツリーが出来てから又、以前のように観光客が増えたそうです。外国の方達も大勢いました。

皆さんもそれぞれおみやげを買ったり、お店をのぞいたりとお楽しみ時間を過ごしました。最後の目的地はフーテンの寅さんで有名な柴又の帝釈天です。そんなに大きなお寺ではないけれど、映画のワンシーン



を見ているような気分でした。お寺の松の枝ぶりの立派なものにはびっくりしました。

各自楽しい思い出を作っていただけのことと思います。帰りのバスの中は、カラオケで盛り上がり、皆さんの美声に聞きほれ、楽しい話で大笑いしたりと、参加していただいた皆さんには体調をくずされる方もなく、有意義な一日を過ごしていただきました。また、このような機会がありましたら、多くの人達に参加していただければと思います。



松をバックに記念撮影

(浜地区社協福祉推進員 川島 勝恵)

成東地域

一人暮らし高齢者の集いに参加して

緑海地区社協

梅雨明け以来照りつける太陽で連日酷暑が続く中で、ほんの一瞬スポットクーラーの様に涼しい日が有りました。それが高齢者の集いが行われた7月21日でした。

高齢者、推進員合わせて35名の参加で栃木県益子方面への日帰り旅行に出掛けました。途中笠間稲荷で参詣後益子へ向かいました。

益子では昼食後各自お土産を目当てに売店へ。お気に入りの陶器を手にしたり、栃木特産の農産物等を買って求めたり各自思い思いの時間をすごしました。

昼食の後は左党の人にはたまらない酒蔵見学です。日本酒の製造工程の説明もそこそこに、気持ちちは試飲の方に向けてしています。

そして待望の試飲を充分堪能した後は又々、お土産を求めに売店へ一目散。大賑わいの売店でした。

酒蔵見学でいい感じに盛りあがった所で最後の立ち寄り場所阿見アウトレットへ。

牛久大仏を後方に見えるこのアウトレットは、最近出来たアウトレットと比較すると規模は小さいものの、それでも結構広いです。半ば足を棒にしながらの散策でした。



アウトレットは、若者向けのファッション等が多くて私達には一寸というのが正直な感想です。
茨城、栃木と少しハードな道のりではありましたが、心地良い疲れと共に楽しく過ごせた一日でした。
(緑海地区社協福祉推進員 伊藤 政敏)

小さな贈り物で地域の絆

豊岡地区社協

松尾地域



ランドセルを背負った子どもたちが元気に登下校する姿を見かけると思わず微笑んでしまうのは歳のせいでしょうか。子どもは地域の宝。「元気に育ってね」と歩いて行く背中を祈るように応援してしまいます。この宝物を守りたいと立ち上がったのが昨年度末に発足した「豊岡こども見守り隊」です。登下校の時刻に合わせて一緒に歩いたり、交差点で見守ってくれたりしています。



(豊岡地区福祉推進員 戸村 幸子)

に、鶴は千年、亀は万年の言い伝えにあやかり、安全を祈願して、特性の「鶴と亀」を小学校に寄贈しました。
写真は、10月25日(木)に行われた贈呈式の様子です。当日は1・2年生全員が学校を代表して受け取ってくれました。1・2年生は、学校の代表らしく、上級生に負けないくらい、堂々と立派な態度で贈り物を受け取ってくれました。

山武交通安全協会長の伊藤丈様から交通安全に関するグッズ「ぴかぴか光る反射板」等を寄贈していただきましたので、「小亀・菱形てまり・キューピー」と併せて、代表の児童に渡ししました。

さんむくんが
行く!

施設めぐり No.3

特別養護老人ホーム 北総長寿苑



あけましておめでとうございます。今年も山武市社協共々、さんむくんも
よろしく申し上げます。それでは、早速ですが、「施設めぐり」のPart3です。
今回は、山武地域にある特別養護老人ホーム“北総長寿苑”さんをご紹介します。

施設めぐりin北総長寿苑(山武地域)

早速、小岩施設長さんからお話を伺いました。



Q.1 “北総長寿苑”さんの特色などを教えてください。



A

特別養護老人ホーム(以下特養)北総長寿苑は、昭和54年4月に開設し「今日を
楽しく」をモットーに家庭的雰囲気の中での介護を目標に、今年で34年目を迎える
伝統ある施設です。また、春には桜が咲き誇る周囲と自然に囲まれた緑あふれる施
設です。定員は特養100名(女性88名、男性12名)にショートステイ2名、併
設のディサービスは30名となっております。

ご利用者の方々に季節感を味わっていただくため、節分やお花見、流しそうめん
やすいか割りなどの行事を行っております。

Q.2 特養に入居するには、何か入居資格が必要ですか？

A

特養は、介護保険料で運営されている施設のため入
居資格が定められています。要介護の認定をされた方が
対象です。



Q.3 どのような方が入居していますか？

A

概ね65歳以上で、原因を問わず日常生活を送るた
めに介護が必要と認定された方、原則として医療行為
を必要としない方が入居しています。男女比では、女
性の方が多い傾向にあります。



Q.4 入居の順番はどのように決まるのでしょうか。また、入居できるまでにどのくらい待たなければいけないのですか？

A

特養は、常時介護が必要で、在宅での生活が困難な場合に入居する施設ですので、行政の指
導により介護度の高い方や緊急性がある方等が優先となります。入居をお待ちになる期間がど
れくらいになるかは、お申込者の状況により順位は変動いたしますので確実なことはなかなか
ご案内申し上げることはできません。



自然豊かな木々に囲まれた、北総長寿苑さん。「今日を楽しく」過ごしている
方々が、笑顔で長生きできますね。ぼくも、長寿をめざすぞー。



奮闘とは、“力いっぱい努力すること!”
8名の『きずな編集委員』が、地域に密着した、さまざまな活動をされている皆さんの“影の力”を紹介しつづけます。今回は、古和いきいきクラブの会長でもある金親はるさんです。

社会に恩返しをしたい!



金親 はるさん

金親さんは、現在古和いきいきクラブの会長さんとしてこまめに活動している。一方、豊岡地区社協の役員（会計担当）として若い時の経験を生かして活躍している。

人間として90歳を超えてなおかつ、現役と並んで地域の活動に参加している人はそんなに多くはない。金親さんは、その貴重な存在の一人なのである。

ならばその原動力は、どこから生まれてくるのか。

とにかく、金親さんは、諸々の会には、まずよく出席する。遅刻、欠席はほとんどない、と言っていいくらいで、あらゆる活動に参加している。それも、車等の手段を持たないので、その都度、仲間の力を借りたりして、何とか工面して参加している。このことは、いろいろな社会活動に仲間入りしてからほぼ20年もずっと続いている。

先日、御本人を訪ねてその心意気を尋ねてみた。

「私は、早く夫に先立たれ子ども一人を女手でひとりで懸命に育ててきました。子どももきっちり独り立ちし、孫も4人います。私が今日あるの

はみなさんのお陰です。私の人生はみなさんに助けられて今があります。今、自分で出来ることで世の中にか恩返しをしたいのです。」

みなさんに感謝したい。未だ、この社会への恩返しの一念を燃やし続けている金親さん。

実は、金親さんは手芸の大家とあってよいほど、身近な素材を生かして、鶴や亀を見ごとに作り上げる（写真）。

「自分は決して器用ではありません。」

といいながら、いいものを見かけるとそれを懸命に研究して自分ものに作り上げていく。素材に使う材料も身近なチラシや広告などほとんどお金のかからない物を使う。物を粗末しない、どんなものでも大切にしたい気持ちから作り上げていく。

でき上がった作品は千を数えるほど。それも金親さんの心のこもった逸品ばかり。

88の米寿のお祝いにもらったご近所の先輩は、これは素晴らしい、一生の宝ものだ、と喜んで喜んだ。

地区社協のサロンに参加した人にも、心をこめて鶴を贈る。みんな大

喜び、また来ようという気をかきたてる。

地元の小学校の子どもたちにも鶴や亀、菱てまりをくばり、車に気を付けてくださいねと、交通安全意識高揚にも一役かっている。東京の友達には米寿の夫婦鶴を贈り、大変喜ばれ、年賀状の写真に入れてくれたそうだ。

贈って喜ばれるのが一番嬉しい、最高だ、と当の金親さんは目を細めている。

老人クラブの会長さんとしても結構忙しい。健康教室や踊りの集会のチラシは、一軒一軒回り、参加を呼びかけている。クラブのない地域にも足を延ばして話かけている。そのことは、今でも脈々と続けられている。アルミ缶回収には、2、3日前から一軒一軒頼んで回っている。役員が回収に行くと、必ず一人で待っている。そして積み込みを見守ってくれている。

ゴールドクラブグラウンドゴルフ大会にも進んで参加し、みんなの志気をおおっている。正月が来ると、自分が作った「古和いきいきクラブ仲よし数え唄」をみんなで歌っている。こうして今でも健気にハリキル金親さんに暖かい拍手を送りたい。金親さんの「他人を思いやる心」に学びたい。正に福祉の原点を見る思いだ。

金親さんありがとう、ずっとずっと元気で頑張ってもらいたい。

(松尾地域委員 大津)



折り込みチラシで作った“鶴”



スポーツで貢献!

第7回チャリティゴルフコンペ

チャリティ総額 **165,597円**

ラフォーレ&松尾ゴルフ倶楽部を会場に実行委員の方々を中心に第7回チャリティゴルフコンペが開催されました。今回初めてホールインワンの達成者も有り盛況の内に幕を閉じました。

本年は、113名の皆様にご参加をいただき、チャリティホールでの寄附や協賛企業様のご協力により総額165,597円の寄付を実行委員長よりいただきました。この寄付金は様々な地域福祉事業に役立たせていただきます。

👑 大会結果 (敬称略)

総合

優勝 三角 和弘
準優勝 秋葉 五郎
第3位 日野 和子

女性の部

優勝 日野 和子



協賛企業 (順不同、敬称略)

梅一輪酒造株式会社	大高醤油株式会社
有限会社津留八	守屋酒造株式会社
花の友株式会社	合資会社寒菊銘醸
二木ゴルフ東金店	ラフォーレ&松尾ゴルフ倶楽部



第1回チャリティグラウンドゴルフ大会

本年度初めて、チャリティイベントとして、山武市グラウンドゴルフ協会、ゴールドクラブ連合会のご協力をいただき、第1回チャリティグラウンドゴルフ大会を開催しました。本大会は、参加費の一部を【福祉車両、貸出物品の購入積立金】への寄附とさせていただき、234名の参加者からご寄附をいただきました。

チャリティ総額

52,204円

街のほっとトピックス

● 広報委員が取材した
ホットな話題をご紹介します。

ボランティアグループ “歌ごえのわ”

“歌ごえのわ”は、今から6年ほど前、昔なつかしい歌、童謡、愛唱歌を声いっぱい歌える場が欲しい・・・と僅か4名で発足して以来、毎月1回仲間が集まって歌い続け、今では参加者は30～40名、会員は70名程いらっしゃるグループです。

また、平成22年5月にはボランティア登録をし、定例会だけではなく福祉施設への慰問や、地域の方々が開催するいきいきサロンや、敬老会行事等に出向き地域の高齢な方達に歌うことで元気を届けるボランティア活動を積極的に行っているとのことでした。

市民提案型交流のまちづくり推進事業として採択され昨年の12月には、第1回山武市民歌ごえのわ音楽祭が山武市成東文化会館のぞくホールで盛大に開催されました。

『みんなと一緒に歌いたい』という一心で、“出来る事を、出来る人が、出来る時に・・・”をモットーに会員お一人おひとりの自主的な協力で運営がなされているそうです。

これからも、歌ごえの『わ』をきっかけに地域の『わ』がますます広がってゆくことを願っております。柴崎様ありがとうございます。(松尾地域委員 戸村)

参加者・会員募集中!!

“歌ごえのわ”ではいつでも参加者、会員を募集しています。条件はただ1つ!!『みんなと一緒に歌いたい』だけです。

参加費：500円(茶菓代他・おひとり1回)
定例会：毎月第2金曜日 午後2時～午後4時
場所：山武市中央公民館 3階 講堂
連絡先：0475-89-1945 設楽(シタラ)
0475-82-2633 柴崎(ジバサキ)

※定例会が変更になる場合もございますのでお問い合わせください。



東日本大震災被災地支援コンサート

『つむぐコンサート』 開催のお知らせ

日時：平成25年4月7日(日)午後1時30分開演予定
場所：成東文化会館のぞくプラザホール
内容：黒坂黒太郎のコカリナ・歌 他
入場料：2,000円(当日券有)
主催：さんぶの森コカリナ隊・バードコカリナ



受賞おめでとうございます

第62回千葉県社会福祉大会

11月15日、青葉の森公園芸術文化ホールを会場に右記大会が開催され下記の方々を受賞されました。

◆千葉県知事表彰◆

社会福祉事業功労者

小川 君江 (社会福祉協議会役員)

◆千葉県社会福祉協議会会長表彰◆

社会福祉施設・団体関係役員功労者

相場 恵子 (障害者支援施設 光洋苑)

糸日谷 栄仁 (障害者支援施設 光洋苑)

横田 直子 (特別養護老人ホーム 青松苑)

和田 正一 (青松苑 デイサービスセンター)

鈴木 みち (山武市社会福祉協議会)

土屋 和子 (山武市社会福祉協議会)



おめでとう
ございました

第44回千葉県身体障害者福祉大会

11月16日、青葉の森公園芸術文化ホールを会場に右記大会が開催されました。

◆千葉県身体障害者福祉協合理事長表彰◆

団体関係役員功労者

宮野 正 (山武市身体障害者福祉会)

平成24年文化の日千葉県功労者表彰

11月3日、千葉県議会議場を会場に右記表彰式が開催されました。

◆千葉県知事表彰◆

健康福祉功労者

石毛 美智子 (山武市身体障害者福祉会)

(順不同・敬称略)

市民相互の親睦を...

こころ・きらきら
ゴールドクラブ便り

～チャリティグラウンドゴルフ大会～

第1回山武市社会福祉協議会主催のチャリティグラウンドゴルフ大会が、11月7日、同市成東総合運動公園で同市の教育委員会、グラウンドゴルフ協会、ゴールドクラブ連合会の後援で今回初めての市民相互の親睦と健康保持を目的とし実施されました。市内のゴールドクラブ会員、グラウンドゴルフ協会員、地区社会福祉協議会推進員等に呼びかけ、参加費500円(内200円がチャリティに)という条件に賛同した234人が参加しました。

午前9時30分開式、金杉等市社協会長、伊藤嘉一実行委員長のあいさつ後、競技説明を受け6人1組になり、個人戦で互いに競い合い、入賞者には賞品が、参加者には参加賞が手渡されました。

(女性活動部会 秋葉 昭子)

👑 大会成績 👑

優勝	小川 正宏氏 (成東)
準優勝	斉藤 武義氏 (成東)
第3位	小笠原 俊文氏 (成東)
第4位	今関 益徳氏 (成東)
第5位	遠藤 哲也氏 (山武)
ホールインワン8人	
シルバー賞5人	
(85歳以上・内最高齢は石橋一雄氏90歳)	



交通遺児援護基金

千葉県社会福祉協議会では、陸上交通事故等で、父又は母(父又は母に代る立場にある方を含む)を失った18歳未満の遺児及び18歳未満の遺児のいる世帯に、見舞金を支給しています。

【支給金の種類】

(1)見舞金 1世帯

100,000円

ただし、遺児が2名以上いる世帯については、2人目から各々50,000円が加算されます。

(2)勉強奨励金

・小学校に入学する遺児 20,000円

・中学校に入学する遺児 20,000円

・中学校を卒業する遺児 50,000円

(3)激励金

・中学校を卒業する遺児 50,000円

(4)図書カード

・小学校または中学校に入学する遺児及び中学校を卒業する遺児 10,000円

相当の図書カード

【手続】

対象と思われる方は、社会福祉協議会までご連絡ください。

「第6回さんぶ市民活動フェスタ2013.2.10」開催!!

～知りあおう・つながろう・生かし合おう～

来月の2月10日(日)、第6回市民活動フェスタが開催されます。さまざまな活動するボランティアや市民活動団体が集まり楽しいイベントです。ボランティアグループの活動発表をはじめ、「これからボランティア始めてみたい!」という人のための講演や紹介コーナーもあります。社会福祉協議会も参加しますので、お子さんからこれからもっと人生を謳歌したいと願う年配の方までふるってご参加ください。

開催期日 平成25年2月10日(日)10時から

開催場所 山武市成東文化会館
のぎくプラザ

参加費 無料

問合せ先 山武市ボランティア・市民活動センター
☎0475(89)2121



社協イベントスケジュール

月	日	行事名
1月	8	おとこの料理教室 (成東)
	11	地域みまもりサービス (山武)
	15	地域みまもりサービス (成東)
	22	いざという時のための救急救命講習
	23	地域みまもりサービス (松尾)
2月	8	地域みまもりサービス (山武)
		シニア地域デビュー講習会
		みんなの介護スクール
	10	介護者リフレッシュ事業 親子ふれあい事業「ふれあい手作りマジック教室」
		ボランティア活動発表会
	12	おとこの料理教室 (成東)
	19	地域みまもりサービス (成東)
	20	おとこの料理教室 (松尾)
	21	おとこの料理教室 (蓮沼)
	26	おとこの料理教室 (山武)
27	地域みまもりサービス (松尾)	
	未定	ボランティアグループリーダー研修
3月	8	地域みまもりサービス (山武)
	12	おとこの料理教室 (成東)
	13	おとこの料理教室 (松尾)
	19	地域みまもりサービス (成東)
	21	おとこの料理教室 (蓮沼)
	26	おとこの料理教室 (山武)
	27	地域みまもりサービス (松尾)

心配ごと相談所開設日程

一般相談 「心の中の心配ごと」何でも相談してください。

●開設時間/午後1時30分～午後4時30分
(予約は必要ありません。受付は4時までです。)

場所	第1火曜日	第2火曜日	第3火曜日	第4火曜日
実施月	山武会場	成東会場	松尾会場 山武会場	蓮沼会場
1月	休所	8日	15日	22日
2月	5日	12日	19日	26日
3月	5日	12日	19日	26日

弁護士相談 法律的な悩みは、こちらで相談してください。

●開設時間/午後1時30分～午後4時30分
(予約が必要です。)

場所	第1水曜日	第2水曜日	第3水曜日	第4水曜日
実施月	蓮沼会場	山武会場	成東会場	松尾会場
1月	休所	9日	16日	23日
2月	6日	13日	20日	27日
3月	6日	13日	休所	27日

開設場所 成東会場：成東老人福祉センター 松尾会場：松尾ふれあい館
山武会場：山武福祉センター 蓮沼会場：蓮沼中央会館

予約
問合せ先

山武市社会福祉協議会
☎0475(82)7102

あけましておめでとございます。福祉まつりや福祉大会も盛況のうちに終り、新しい春がやってきました。昨年は政治や経済、国際面で大きく揺れ動いた年でもありました。震災や原発事故等の復興も未だ進展していません。いつになつたらしい平和な時が来るのでしょうか。そのような中でも、山中伸弥教授の医学生理学賞でのノーベル賞受賞や、レスリングの吉田沙保里選手の国民栄誉賞という明るいニュースもありました。お二人が共通して言っていた「日頃からの努力の積み重ね」という言葉に重みがありました。

「絆」は一人ひとりの福祉の心で結ばれています。私たち福祉に携わる者として心に刻んでおきたい言葉だと思えます。

広報「きずな」を今年もどうぞよろしく願っています。

(秋葉)

あ
と
が
き

社会福祉法人 山武市社会福祉協議会
〒289-1306 山武市白幡1627(成東老人福祉センター内)
電話：0475(82)7102 FAX:0475(82)7318
Eメール:sammushakyo@etude.ocn.ne.jp
ホームページアドレス:ht tp://sammushakyo.sakura.ne.jp

人口動向

市の人口	56,701人	65歳以上	15,092人
男	28,214人	男	6,566人
女	28,487人	女	8,526人

(住民基本台帳法一部改正により、外国人住民も含んだ人数へと変更になりました。)

高齢化率
26.6%
(前回より0.3%増)
平成24年12月1日現在



山武市社会福祉協議会は、この冊子の印刷プロセスで使用する7.01kgのアルミ板をリユースして印刷する事で、従来の印刷と比較した場合、電力量110.96kWhを削減しました。

山武市社会福祉協議会は、MCPによる印刷を通じ、インドネシア・バリ州の森林再生事業(国立公園内の植樹3,000本)に参加しています。

当冊子印刷は株式会社日本スチートエンジニアリングの印刷システムを依頼し、公的に審査・認証して貰ったものであります。

